

平成 19 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド  
代 表 者 名 代表取締役社長 望月 圭一郎  
(コード番号 9612 東証第 2 部)  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 大竹 隆一  
(TEL03-3377-9331 (代表))

平成 18 年 12 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 12 月期 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日) の通期業績予想について、平成 18 年 11 月 2 日付け当社「平成 18 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (非連結)」において発表いたしました平成 18 年 12 月期 業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、配当に関しましては、当初計画とおり期末配当金 15 円 (年間配当金 15 円) を予定しております。

記

1. 平成 18 年 12 月期通期業績予想の修正 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)  
(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	16,200	980	560
今 回 修 正 ( B )	14,700	480	260
増 減 額 ( B - A )	△1,500	△500	△300
増 減 率	△9.3%	△51.0%	△53.6%
前期 (平成 17 年 12 月期) 実績	16,140	958	555

2. 修正理由

【売上高】

平成 18 年 12 月期第 4 四半期 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日) において、11 月度及び 12 月度におけるスーパーマーケット関連部門及びフードシステム関連部門の主要顧客の事業環境の変化による売上高の計画比減、及び 12 月度に予定していた複数の大型商業施設案件等の来年度への引渡延期により、売上高は前回予想に比し 1,500 百万円減の 14,700 百万円となる見込であります。

#### 【経常利益】

上述の理由による売上高の計画比減、及び中長期的な事業の発展を見据えた新規顧客の獲得に向けての低粗利率物件の受注を政策的に拡大したことによる粗利率の計画比減、並びに営業部門・設計施工部門における戦略的な人材投資等によるコスト・販売費及び一般管理費の計画比増により、経常利益は前回予想に比し 500 百万円減の 480 百万円となる見込であります。

#### 【当期純利益】

当期純利益は、上述の理由による売上高・経常利益の計画比減、及び当期における保有有価証券の一部売却に伴う投資有価証券売却益 225 百万円並びに保有株式の当期末時点における時価の著しい下落による投資有価証券評価損 256 百万円の計上により、前回予想に比し 300 百万円減の 260 百万円となる見込であります。

以上